

漁場整備事業 但馬第2地区

位置図



事業概要

事業概要：魚礁設置 12,600空m³

所在地：新温泉町釜屋地先・浜坂地先

事業期間：令和5年度～8年度

総事業費：3.6億円

事業効果：漁場の整備による漁獲量の増大

費用便益比 B/C：1.14

対象魚種：タイ類、ブリ類、ケンサキイカ、カサゴ・メバル類他

工程表

	R5	R6	R7	R8
釜屋沿岸工区				
釜屋沖工区				
浜坂工区				

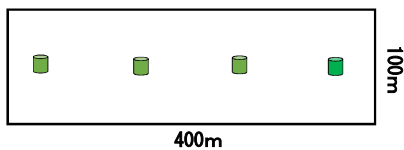
事業の必要性・優先性

- 当地区の沿岸域は単調な砂質帯が多く、マダイ等岩礁性魚類や、ブリ類、ケンサキイカ等回遊性魚類が蟄集する好適な天然礁が少なく生産性に乏しいため、漁獲対象魚種が蟄集する（集める・足止めする）漁場を整備し、漁獲量増加を図る。
- 当地区は沖合底曳網漁業が盛んであるが、沖合底びき網漁業の休漁期（6～8月）には、沿岸漁業が水産物供給を担っており、また休漁期中の沖合底曳網漁船乗組員や高齢化し引退した漁船乗組員など、有能な人材を効率的に漁業生産に活用する場として沿岸漁業の振興は重要である。
- 当事業は、これまで県が進めてきた漁場整備の未整備海域のうち、地元調整が整った新温泉町釜屋地先及び浜坂地先の整備を行うもので、地元及び関係漁業者からの要望も強い。

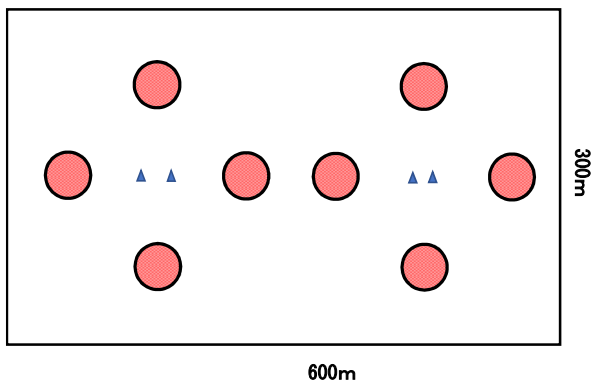
	現況	計画
漁獲量	766トン	806トン
漁獲金額	436百万円	466百万円

平面図（配置イメージ）

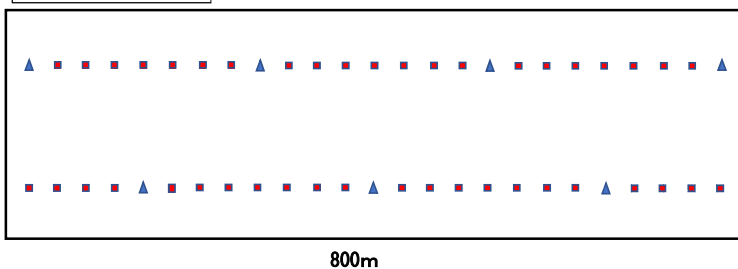
釜屋沖工区



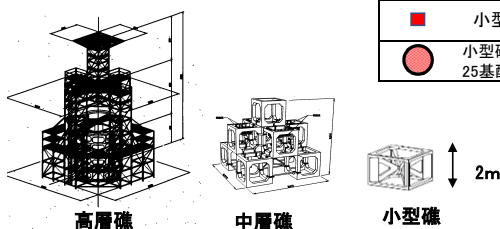
浜坂工区



釜屋沿岸工



使用魚礁のイメージ



凡例	
	高層礁
	中層礁
	小型礁
	小型礁を25基配置